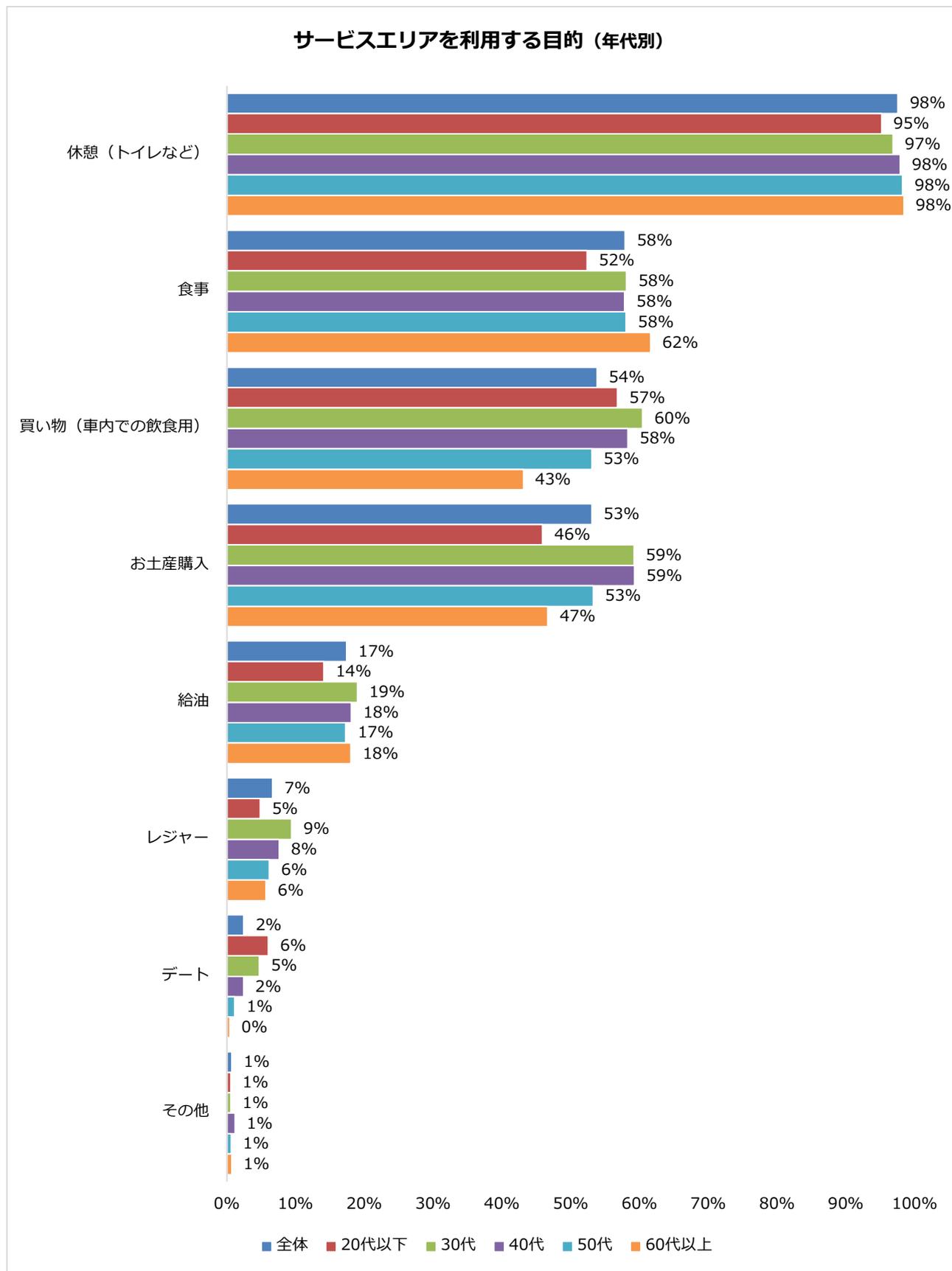


年代別でみると、60代以上は他の年代と比べて「食事」の比率が高い一方、「買い物（車内での飲食用）」は低くなっており、サービスエリア内でゆっくりと食事を楽しみたい人が多いようです。「給油」は全年代で2割を下回りました。サービスエリアのガソリンスタンドは、輸送コストなどの影響で、一般道路のガソリン価格より20円/L以上高くなる場所があるほか、高速道路上のガソリンスタンドが減少傾向にあることなどが影響しているものと思われます。

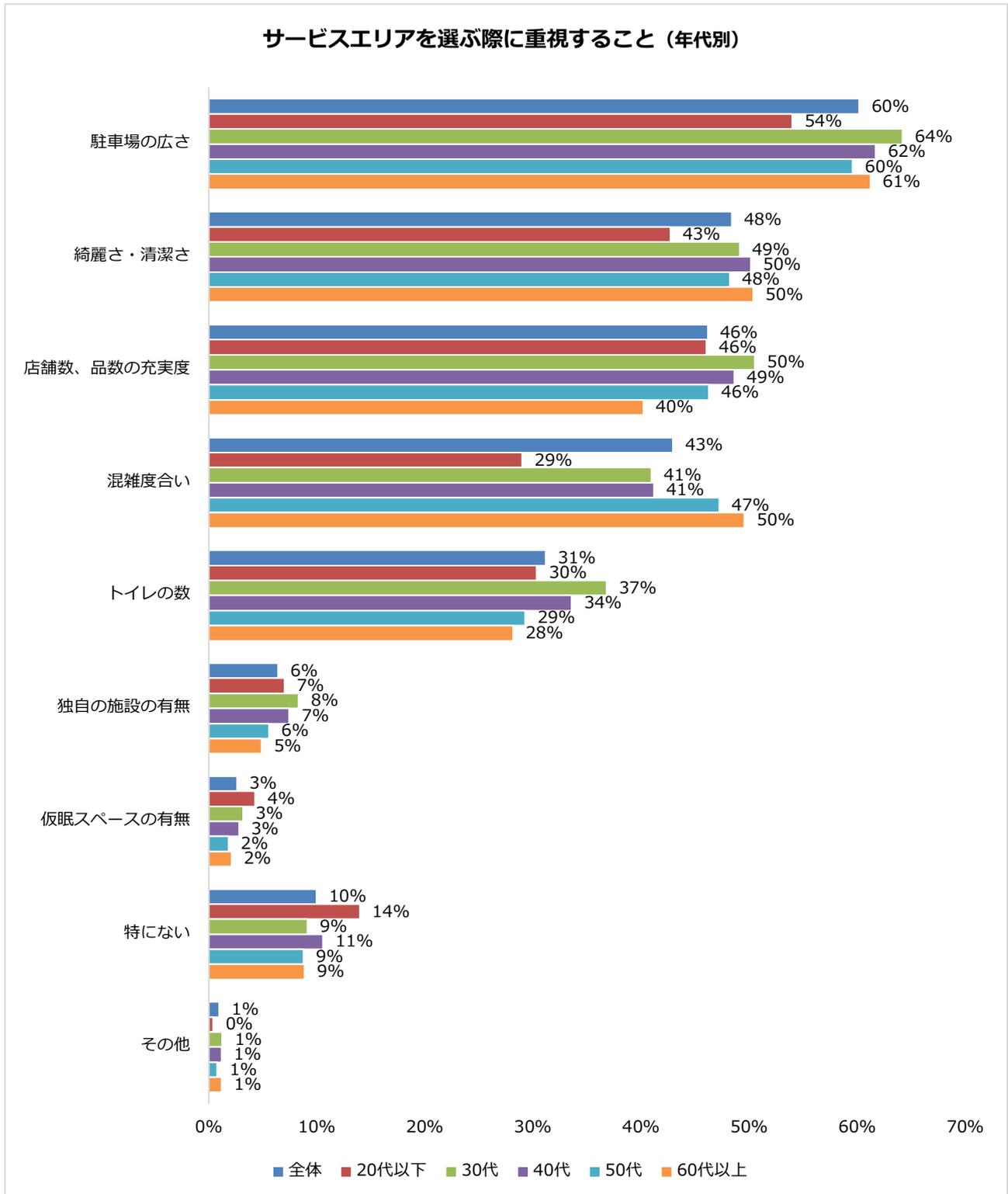


② サービスエリアで重視することは「駐車場の広さ」が過半数

サービスエリアを選ぶ際に重視することは、「駐車場の広さ」60%が最多で唯一半数を超えました。2位は「綺麗さ・清潔さ」48%、3位は「店舗数、品数の充実度」46%でした。

年代別で見ると、「食事」を目的にサービスエリアを利用する人が多かった60代以上は、2人に1人が「混雑度合い」を重視しているのに対し、20代以下は3割を下回っており、年代による違いがみられました。

本アンケートの回答者における「20代以下」のおよそ半数は学生です。学生は長期休みなどを利用して混雑を避けた旅行ができることから、「混雑度合い」を重視する割合が他の年代よりも大幅に低くなると推測されます。



③ おすすめのサービスエリアは「海老名」がダントツトップ

おすすめしたいサービスエリア（パーキングエリア・ハイウェイオアシスを含む）は、最も利用者数が多く※1、ギネス記録※2に認定されたメロンパンなどのグルメで有名な「海老名」が203票でダントツでした。2位には、天然温泉や高級感あふれるデラックストイレなど設備が充実している「刈谷ハイウェイオアシス」48票、3位には大観覧車から明石海峡大橋などが一望できる「淡路」41票が選ばれました。

トップ10には、関東・東海・関西・九州と、全国幅広い地域のサービスエリアがランクインしました。グルメや設備だけでなく、世界観にこだわりを持つサービスエリアもあり、宝塚市の「花のみち※3」をイメージし、南欧風の建物が立並ぶ「宝塚北」や、時代小説「鬼平犯科帳」の舞台である江戸の町並みを再現した「羽生」などでは特有の雰囲気を味わえます。

※1 出典：NEXCO中日本「MEDIA GUIDE2021」（データは2018～2019年のもの）

※2 2018年に「48時間以内で最も売れた焼きたて菓子パン」として認定

※3 宝塚駅と宝塚大劇場を結ぶ遊歩道。「宝塚歌劇へ続く花道」の意味が込められている。

おすすめサービスエリアトップ10				
順位	サービスエリア	票数	都道府県	路線名
1	海老名	203	神奈川	東名高速道路
2	刈谷ハイウェイオアシス	48	愛知	伊勢湾岸自動車道
3	淡路	41	兵庫	神戸淡路鳴門自動車道
4	足柄	32	静岡	東名高速道路
5	談合坂	31	山梨	中央自動車道
6	宝塚北	28	兵庫	新名神高速道路
7	羽生	19	埼玉	東北自動車道
8	多賀	16	滋賀	名神高速道路
9	駿河湾沼津	15	静岡	新東名高速道路
10	基山	14	福岡、佐賀	九州自動車道

※本集計はパーキングエリア・ハイウェイオアシスを含みます

サービスエリアの多くは、それぞれにおすすめグルメや設備、景観などの推しポイントがあります。お出かけの際には、目的地だけでなく道中のサービスエリアも下調べし、旅行プランに組込んでみてはいかがでしょうか。

■調査概要

調査対象：タイムズクラブ会員

（2023年8月28日以降に入会し、直近でパーク24グループのサービス※を利用された方）

※対象サービス：時間貸駐車場・予約制駐車場・カーシェアリング・レンタカー

調査方法：非公開型インターネットアンケート

調査期間：2024年8月29日～2024年9月8日

有効回答者数：5,244名

※調査結果は、四捨五入による端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。